

## 2. 各教科の定める個別審査等の内容

教科名	個別審査の内容
音楽（※）	実技（下記も参考すること）
美術	実技
保健体育	実技
家庭	プレゼンテーション等
英語	英語によるコミュニケーション

※詳細は学生募集要項にて発表しますが、音楽を選択する場合、事前の準備のための時間を考慮し、下記の通り予告します。

### ・第1次選考

#### 〔教科の定める個別審査〕

次の1. および2. をどちらも演奏する。

1. ピアノ 次の練習曲集から任意の1曲（暗譜）

C. Czerny 40番 練習曲集 op. 299

C. Czerny 50番 練習曲集 op. 740

F. Chopin 練習曲集 op. 10, op. 25 (ただし op. 10-6, op. 25-7を除く)

2. 声楽、管楽器または弦楽器

声楽を選択する場合は、次の3曲から任意の1曲（暗譜の必要はない）。

Concone 50番 op. 9より 24番, 29番, 39番

※ 中声用または低声用のいずれかを選択すること。母音唱、階名唱、音名唱のいずれも可とする。

管楽器または弦楽器を選択する場合は、任意の練習曲（暗譜の必要はない）。

#### 〔面接①〕

質問内容は、音楽に関する基礎的知識を含む。

### ・第2次選考

#### 〔面接②〕

次の1. 2. 3. よりいずれかを選択して演奏した後、演奏した楽曲や、自身の演奏等についての質問に答える。

1. ピアノ J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenのソナタの中から、緩徐楽章および変奏曲楽章を除く任意の1つの楽章（暗譜。繰り返しおよびD. C.は省略）

2. 声楽 イタリア語またはドイツ語の歌詞による任意の1曲（原語。暗譜）

※ 原則として、原調で演奏すること。ただし、出版されている移調楽譜の使用も可とする。

3. 管楽器または弦楽器 任意の1曲（暗譜。ソナタまたは協奏曲の場合は1つの楽章）

※ 繰り返し省略。カデンツア省略可。練習曲も可とするが、第1次選考と同一曲は不可。当日伴奏無し。

## 3. 配点

学部学科等名		大学入試センター試験							書類審査	面接①	面接②	各教科の定める個別審査	合計
		課す・ 課さない	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語 注)					
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻	課す	200	200※	200※	200※	200	600	200	200	300	1300	
	第1次選考								200		300	500	
	第2次選考	課す	200	200※	200※	200※	200	600		200		800	

※印は選択科目を示します。

注) 大学入試センター試験の外国語において英語（250点満点）とその他の外国語（200点満点）で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、以下のとおり200点満点に圧縮後、各学科（課程）等の配点に換算します。

筆記試験及びリスニングテストの配点	リスニングテストを免除された者
筆記試験とリスニングテストの合計得点250点満点を200点満点に圧縮します。	筆記試験を200点満点とします。